FINANCIAL REPORT





[特集]

- ① NEW MODEL IMPREZA SPORT HYBRID
- ② 進化を続ける スバルの総合安全性能



株主のみなさまには平素よりご高配を賜り厚くお礼申し あげます。

ここに第84期(2014年度)の報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申しあげます。

2014年度の連結業績につきましては、連結販売台数 91.1万台、売上高2兆8,779億円、営業利益4,230億 円、経常利益3,936億円、当期純利益2,619億円と、いず れも過去最高となりました。

また、2015年度の連結業績予想につきましても、連結販売台数92.8万台、売上高3兆300億円、営業利益5.030億円、経常利益4.950億円、当期純利益3.370億円と、いずれも4年連続の過去最高を計画しております。

このような状況の中、株主のみなさまへの期末配当は、2014年度の業績を鑑みまして、1株当たり37円とさせていただきました。これにより、1株当たりの年間配当金は、中間配当金31円と合わせまして、前期実績から15円増配の68円となります。

昨年5月に中期経営ビジョン「際立とう2020」を発表し、「スバルブランドを磨く」「強い事業構造を創る」という2つの活動に集中し、具体的に取り組んでおります。

その中で、特に米国の販売の勢いが継続しており、この好調な販売を支える生産体制を構築するため、現状で82.9万台あるグローバル生産能力を、米国の生産拠点であるスバル オブ インディアナ オートモーティブ インク(SIA)の生産能力を追加すること等により、2016年末に102.6万台とすることといたしました。また、品質向上と環境対応を強化するため、国内のペイント工場のリニューアルを計画しており、世界でスバル車をお待ちいただいているお客様に商品をお届けするとともに、お客様に更にご満足をいた

だけるよう努めてまいります。また、既にスバル車をご購入いただいた沢山のお客様には、今後も安心してお乗りいただき、再びスバルを選んでいただけるよう、米国・日本を中心にサービス体制の強化を進めてまいります。

商品につきましては、今後もスバル車のアイデンティティである「安心と愉しさ」を追求した車づくりを進めてまいります。安全面では「総合安全No.1ブランド」を目指し、米国や日本、欧州の第三者機関から獲得しておりますトップクラスの安全評価を堅持し、中でも、お客様に大変ご好評をいただいている運転支援システム「アイサイト」につきましては、将来の高速道路での自動運転も視野に入れた開発を進めてまいります。

お客様の人生がより豊かになることの実現のため、お客様のアクティブライフを応援するなど、お客様とのつながりの強化を目指し、スバル車の「安心と愉しさ」をより深く感じていただける活動を進める所存であります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご 支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月



古永春之



営業の概況(連結)

当連結会計年度の売上高につきましては、自動車売上 台数の増加や為替変動に伴う売上高の増加などにより、 2兆8,779億円と前期に比べ4,698億円(19.5%)の 増収となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に伴い、営業利 益が4.230億円と前期に比べ966億円(29.6%)の増 益となり、経常利益につきましても、3.936億円と前期 に比べ792億円(25.2%)の増益となりました。また、当 期純利益につきましては、2.619億円と前期に比べ 553億円(26.7%)の増益となりました。

●通期見通し

通期の連結業績につきましては、売上高3兆300億 円、営業利益5.030億円、経常利益4.950億円、当期純 利益3.370億円を予想しております。



連結の業績および推移





自動車事業部門

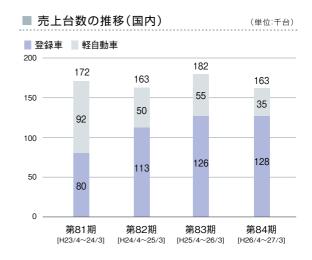
北米販売の好調が継続し増収増益

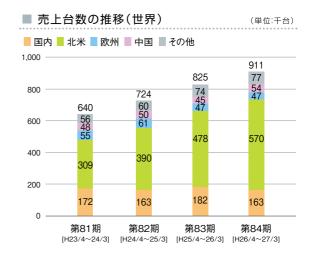
国内の登録車につきましては、今期に発売した「レヴォーグ」を中心に新型車の販売が好調に推移したことにより、売上台数は12.8万台と前期に比べ0.2万台(1.4%)の増加となりました。一方、軽自動車につきましては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響、同業各社の新型車投入などにより競争が激化したことなどの影響を受けたことにより、売上台数は3.5万台と前期に比べ2.1万台(37.1%)の減少となりました。これらの結果、国内における売上台数の合計は16.3万台と前期に比べ1.9万台(10.4%)の減少となりました。

海外につきましては、当社の重点市場である北米において、「フォレスター」ならびに新型「レガシィ」及び「アウトバック」の販売が好調に推移していることに加え、新型「WRX」が台数の上積みに寄与したことにより、売上台数の合計は74.8万台と前期に比べ10.4万台(16.2%)の増加となりました。

地域別には、北米で57万台と前期に比べ9.2万台(19.3%)の増加、ロシアを含む欧州で前期並みの4.7万台、中国で5.4万台と0.9万台(20.1%)の増加、豪州で3.9万台と0.1万台(1.6%)の減少、その他地域で3.8万台と0.4万台(10.4%)の増加となりました。

以上の結果、国内と海外を合わせた売上台数は過去最高となる91.1万台と、前期に比べ8.6万台(10.4%)の増加となり、為替変動の影響も加わり、自動車事業全体の売上高は2兆6,990億円と前期に比べ4,524億円(20.1%)の増収となりました。セグメント利益につきましても、4,009億円と前期に比べ919億円(29.7%)の増益となりました。





※台数表示は千台未満四捨五入

航空宇宙事業部門

ボーイング787の売上増加などにより増収増益

防衛省向け製品では、輸送機「C-2」の売上増加により、 売上高は前期を上回りました。また、民間向け製品では、 為替変動に伴う売上高の増加、及び「ボーイング787」の 生産機数増加などにより、売上高は前期を上回りました。

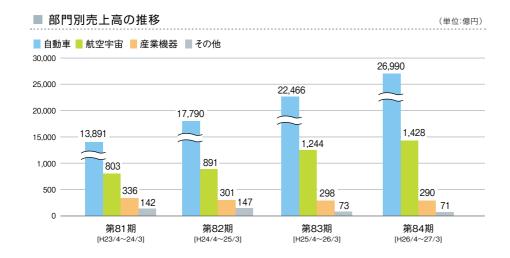
以上の結果、全体の売上高は1.428億円と前期に比 べ184億円(14.8%)の増収となりました。セグメント利 益につきましても、189億円と前期に比べ48億円 (33.7%)の増益となりました。

産業機器事業部門

欧州向け販売の減少などにより減収

北米向けレジャー用エンジン及び汎用エンジンの販売 が伸長したものの、欧州向け汎用エンジン等の売上が減 少したことなどにより、売上高は290億円と前期に比べ

7億円(2.5%)の減収となりました。セグメント利益につ きましては、8億円と前期に比べ1億円(23.3%)の増益 となりました。



連結貸借対照表

単位:百万円

	第84期	第83期	
	平成27年3月31日現在	平成26年3月31日現在	
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	228,821	351,125	
受取手形及び売掛金	164,540	181,646	
リース投資資産	24,098	23,633	
有価証券	444,737	233,766	
商品及び製品	203,347	159,536	
仕掛品	52,734	51,659	
原材料及び貯蔵品	39,569	33,008	
繰延税金資産	78,789	64,214	
短期貸付金	157,070	122,681	
その他	80,796	53,375	
貸倒引当金	△1,233	△ 862	
流動資産合計	1,473,268	1,273,781	
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物(純額)	128,225	114,810	
機械装置及び運搬具(純額)	130,433	113,519	
土地	177,075	175,808	
賃貸用車両及び器具(純額)	8,765	11,512	
建設仮勘定	28,611	24,116	
その他(純額)	41,588	21,048	
有形固定資産合計	514,697	460,813	
無形固定資産			
その他	16,850	14,712	
無形固定資産合計	16,850	14,712	
投資その他の資産			
投資有価証券	111,558	76,788	
退職給付に係る資産	3,659	1,222	
繰延税金資産	13,113	18,332	
その他	99,648	76,312	
貸倒引当金	△33,079	△ 33,597	
投資その他の資産合計	194,899	139,057	
固定資産合計	726,446	614,582	
資産合計	2,199,714	1,888,363	

		単位:百万
科目	第84期 平成27年3月31日現在	第83期 平成26年3月31日現在
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	317,801	279,926
電子記録債務	74,420	67,637
短期借入金	41,443	59,193
1年内返済予定の長期借入金	44,329	42,557
1年内償還予定の社債	_	4,060
未払法人税等	54,987	110,426
未払費用	126,007	91,921
賞与引当金	21,668	20,446
製品保証引当金	49,708	39,494
工事損失引当金	0	1,032
事業譲渡損失引当金	_	2,128
その他	142,693	114,088
流動負債合計	873,056	832,908
固定負債	0.0,000	002,000
社債	10,000	10,000
長期借入金	115,420	153,844
繰延税金負債	13,996	9,827
役員退職慰労引当金	409	504
退職給付に係る負債	17,963	22,852
その他	138,151	88,357
固定負債合計	295,939	285,384
	1,168,995	1,118,292
純資産の部 株主資本	.,,	.,,
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,071	160,071
利益剰余金	697,414	483,910
自己株式	△ 1,382	△ 1,395
株主資本合計	1,009,898	796,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,986	10,629
為替換算調整勘定	10,025	△ 26,661
退職給付に係る調整累計額	△ 11,616	△ 13,886
在外子会社のその他退職後給付調整額	△ 3,876	△ 919
その他の包括利益累計額合計	12,519	△ 30,837
少数株主持分	8,302	4,527
純資産合計	1,030,719	770,071
負債純資産合計	2,199,714	1,888,363

連結損益計算書

科目	第84期 自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日	第83期 自 平成25年4月 1日 至 平成26年3月31日
売上高	2,877,913	2,408,129
売上総利益	860,423	679,858
販売費及び一般管理費	437,378	353,369
営業利益	423,045	326,489
営業外収益	6,961	12,656
営業外費用	36,358	24,708
経常利益	393,648	314,437
特別利益	3,878	49,021
特別損失	5,320	34,593
税金等調整前当純利益	392,206	328,865
法人税等	127,057	120,880
少数株主損益調整前当期純利益	265,149	207,985
少数株主利益	3,276	1,369
当期純利益	261,873	206,616

[注]百万円未満四捨五入

Point ▶ ① 資産合計

資産は現金及び預金と有価証券を合わせた手 許資金が887億円、商品及び製品が438億 円、有形固定資産が539億円増加したことなど により、3.114億の増加となりました。

Point ▶ ② 負債合計

負債は長期借入金が384億円減少したもの の、支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わ せた仕入債務が447億円、未払費用が341億 円増加したことなどにより、507億円の増加と なりました。

Point ▶ ③ 純資産合計

純資産は当期純利益を計上したことなどによ り、利益剰余金が2.135億円増加したことか ら、2.606億円の増加となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	科目	第84期 自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日	第83期 自 平成25年4月 1日 至 平成26年3月31日
	営業活動によるキャッシュ・フロー	311,543	313,024
4	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 172,780	△ 33,903
L	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 110,546	△ 63,011
	現金及び現金同等物に係る換算差額	25,998	12,691
	現金及び現金同等物の増減額	54,215	228,801
	現金及び現金同等物の期首残高	557,870	328,947
	連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	_	122
	現金及び現金同等物の期末残高	612,085	557,870

Point ▶ 4

営業活動によるキャッシュ・フロー

法人税等の支払い1.931億円があったもの の、税金等調整前当期純利益3.922億円が あったことなどから、3.115億円のキャッシュイ ンとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

生産能力増強などに伴う投資活動があったことか ら、1,728億円のキャッシュアウトとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済や、配当の支払い、社債償還など により、1,105億円のキャッシュアウトとなりま した。

"Fun To Driveを実感できるハイブリッド"第2弾!

インプレッサ SPORT HYBRID



2013年に発表したスパル初のハイブリッドモデル、SUBARU XV HYBRID。

燃費を最も重視したモデルが大多数を占める当時のハイブリッド市場にあって、

スバルは"Fun To Driveを実感できるハイブリッド"という新たな価値を発信しました。

そして、スバルのハイブリッド第2弾"インプレッサ SPORT HYBRID"が満を持してデビュー。

スバル登録車の最大販売ボリュームゾーンに走りの愉しいハイブリッドモデルを

新たにラインアップし、幅広いお客様のニーズに応えます。

HYBRID SYSTEM

コンパクトなモーター/バッテリーを、シンメトリカルAWD レイアウトに統合。左右対称・低重心という資質を損なうこ となくハイブリッド化を実現しました。燃費性能はもちろん、 リニアな加速が気持ちよい、余裕のある動力性能も備え、 スバルらしい走りの愉しさを発揮します。

EXTERIOR

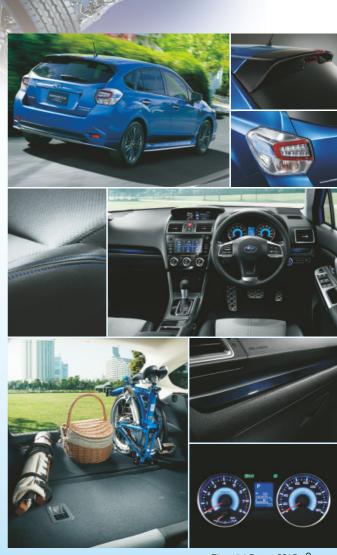
ハイブリッド専用のフロントバンパーやサイドシルスポイ ラーなどにより、スポーティさや上質感を表現したスタイリ ング。リヤまわりにはルーフエンドスポイラーやLEDコンビ ランプを採用し、ハイブリッドらしい機能性と先進性を表現 しました。

INTERIOR

メーターパネルやインパネ加飾、エンジンスイッチなどにブ ルーのアクセントを用いて、ハイブリッドの先進性を表現。 上級グレードには、シルバーウルトラスエードやブルース テッチを採用し、より上質で洗練された空間を実現しました。

PACKAGE & UTILITY

ハイブリッドでありながらガソリン車と変わらない広さを実 現した開放的な室内空間。カーゴルームも344ℓ(VDA法*) と十分な容量を確保し、あらゆるライフシーンで、サイズを 超えた快適性を提供します。





クルマは、人生を乗せるものだから。

SUBARUの総合安全性能

O次安全

~事故に遭わないための基本設計~

理想的なのは、クルマを発進させてから帰ってくるまで、何事も起きることなく安心して運転ができること。クルマのカタチやインターフェースといった基本的な部分のデザイン・設計を工夫することで、疲れにくく、運転に集中できるクルマづくりを目指しています。

- ■全方位に良好な運転視界
- ■疲れにくいシートや内装のデザイン
- ■人間工学に基づいてつくられた 操作しやすいスイッチ類 など



0 次 安 全

_{走行安全} アクティブセイフティ

~ 意のままに操ることができる走行性能~

当社には「走りを極めれば安全になる」という思想があります。突然の雨や雪で路面状況が変化しても、走り続けられる。 危険に遭遇したとき、とっさの操作で安心して回避できる。当 社独自のシンメトリカルAWDを核として、あらゆる状況下で 安心して運転できる性能を磨いています。

- ■低重心&コンパクトな水平対向 エンジン
- ■前後左右の重量バランスに優れた シンメトリカルAWD など



アクティブセイフティ



AC13F0

SUBARUの安全性能が、国内外

▶▶アイサイト

おかげさまでアイサイト搭載車 販売台数が30万台突破!



先進運転支援システム「アイサイト」 搭載モデル(ver.2、ver.3)の国内累計販売台数が、2015年3月末時点で30万台を達成しました。2008年、2010年5月の発売以来、お客様から高い評価をいただいており、2014年度の新車の搭載比率は約85%を占めています。

予防安全性能アセスメントで評価車種 すべてが「最高ランク」を獲得!



自動車の衝突安全性能の評価を公開してきたJNCAP*1の、予防安全技術の性能を評価する新たな試験「予防安全性能アセスメント」で最高ランクを獲得、さらにアイサイトver.3搭載車は評価車種すべてが「40点満点」を獲得、アイサイトの性能が高く評価されました。

*1: 国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA)によって行われる自動車アセスメント(Japan New Car Assessment Program)の略称

航空機ビジネスをルーツに持つ当社は、クルマのもっとも重要な基本性能のひとつに"安全"を掲げています。 50年以上も前に発売した「スバル360 | の時代から、どのような環境下にあっても、

「自動車事故のない社会 |を目指しています。あらゆる視点からクルマの安全を追求する

- "ALL-AROUND SAFETY"という考え方のもと、以下の4つのアプローチで安全開発に取り組み、
- "SUBARU車ならではの安心感"を生み出し、その技術を磨き続けています。

予防安全 プリクラッシュセイフティ

~危険を回避する予防安全性能~

当社は、危険を予測することで衝突の被害を軽減するという考え方をいち早く取り入れ、25年以上もの長きにわたり開発を積み重ねてきました。それが「アイサイト」です。ステレオカメラから得られる情報をもとに、様々なシーンでドライバーの運転を支援します。

- ■アイサイト
- ■アドバンスドセイフティパッケージ (新型レヴォーグに搭載)



衝突安全 パッシブセイフティ

~もしもの時の衝突安全性能~

当社にはスバル360の開発段階以来50年以上にわたって培ってきた、安全性能への取り組みの積み重ねがあります。衝突時に衝撃を吸収して乗る人を守り、歩行者や他のクルマの被害を軽減するために、パーツのひとつひとつにまで安全という視点が込められています。

- ■全方位からの衝撃に対応する 新環状力骨構造
- ■前面衝突時にエンジンが キャビンの床下に潜り込み、 キャビンを守るクルマの構造 など



プリクラッシュセイフティ 〈予防安全〉

在除發生時

パッシブセイフティ 〈衝突安全〉



で高い評価を受けています

▶▶衝突安全ボディ



「新·安全性能総合評価 ファイブスター賞 | を受賞!



JNCAPの「新·安全性能総合評価」 において最高評価の5つ星を獲得。 2012年度にインプレッサが、 2014年度にレヴォーグ、WRX、レ

ガシィ、フォレスターが、自動車としての高い安全 性能を実証し、ファイブスター賞を受賞しました。



2015年型レガシィなど7車種でIIHS*2最高評価「トップセイフティピック賞」を獲得!



2009年にレガシィ、2011年にSUBARU XV、2012年に フォレスターがEURO NCAP最高評価の5つ星を獲得!





レガシィ、インプレッサ、フォレスターが ANCAP最高評価の5つ星を獲得!



[STI Performance Concept] & ニューヨーク国際自動車ショーにて世界初公開

当社は、米国ニューヨークにて開催中の2015年ニュー ヨーク国際自動車ショーにおいて、「STI Performance Concept | を世界初公開しました。

「STI Performance Concept」は、当社のモーター スポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナ ショナル株式会社*1が今後の米国での事業拡大に向け て、その主要事業内容であるパーツビジネス、コンプ リートカービジネス、モータースポーツ活動を表現した コンセプトカーです。STI製サスペンション、ブレーキ、 内外装部品等を含めて、一台のコンセプトカーとして提 示することで、STIのパーツビジネスとコンプリート カービジネスを具現化しました。また、エンジンには Super GT レース用のEJ20型2.00水平対向4気筒 ターボエンジンを搭載することで、そのモータースポー ツ活動を表現しました。2014年5月に当社は、新中期 経営ビジョン「際立とう2020 |を発表しました。「際立 とう20201では、当社の持続的成長を目指して、 2020年のありたい姿を「大きくはないが強い特徴を 持ち質の高い企業 | とし、その実現に向け「スバルブラ ンドを磨く|「強い事業構造を創る|の2つの活動に集中 し、付加価値経営を更に進め、環境変化への耐性を高 めることに取り組むことを宣言しました。その「強い事 業構造を創る | 取り組みの一つである商品戦略におい ては、STIブランドの活用拡大を掲げており、今回の 「STI Performance Concept」出展はその端緒と なります。具体的には、スバルにとっての最大市場であ る米国において、STI製パーツの販売を拡大するととも に、それらを搭載したコンプリートカーの展開も検討し ていきます。さらに米国でのモータースポーツ活動に おいては、スバルオブアメリカ*2のグローバルラリーク ロス*3チームへのSTIからのサポートを強化していきま す。当社は経営理念である「お客様第一」を基軸に「存 在感と魅力ある企業 | を引き続き目指します。スバルら しい存在感の実現に向け、確かなモノづくり、クルマづ くりを貫き、お客様への「安心と愉しさ」の提供を追求 し続けます。





STI Performance Concept

^{*3:} Global Rallycross: 2015年シーズンは全12戦の開催を予定

^{*1:} スパルテクニカインターナショナル(株)(略称:STI、東京都三鷹市) *2: Subaru of America, Inc.: 当社の米国販売会社、ニュージャージー州チェリーヒル

SUBARU WRX STIM ニュルブルクリンク24時間耐久レースでクラス優勝

当社のモータースポーツ統括会社であるスバルテクニ カインターナショナル株式会社*'が市販車ベースのレー スカー「SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2015 で出場した第43回ニュルブルクリンク24時 間耐久レース(ドイツ、5月14日~17日)において、 SP3Tクラス*2で優勝を果たしました。

14日(木)、15日(金)に行われた予選では、SP3Tク ラスでトップタイムを記録し、ポールポジションを獲得。 決勝レースでも一度もトップを譲ることなく、終始安定 した走りを見せ、2位以下に12周以上の差をつける圧 倒的な走りで143周(約3.629km)を走破し、クラス 優勝を飾りました。また、総合順位でも全参加車151

台中18位となり、過去最高順位を獲得しました。 2008年から8年連続で出場するSTIのクラス優勝は、 2011年、2012年に続いて3度目となります。

今回のクラス優勝で、WRX STIのAWDスポーツパ フォーマンスが 「究極の一般公道 」とも言われるニュル ブルクリンク・サーキットにおいても高次元で発揮され ることを実証することができました。

今後も当社とSTIは、モータースポーツ活動を通し、ス バルがお客様に提供する価値である「安心と愉しさ」を 確かなモノづくりで実現し、世界中のお客様のご期待に 応えていきます。

【車両】SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2015 【総監督】辰己英治 【監督】小澤正弘

【ドライバー】カルロ・ヴァン・ダム(オランダ)、マルセル・ラッセー(ドイツ)、ティム・シュリック(ドイツ)、山内英輝





^{*1:} スパルテクニカインターナショナル(株)(略称:STI、東京都三鷹市)

^{*2:} 排気量2リットル以下のターボ車のクラス

配当に関する事項

平成27年6月23日開催の当社第84期定時株主総会において、期末配当に関する事項は以下のとおり承認可決されました。

- (1)配当財産の種類 金銭
- (2)株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額 当社普通株式1株につき金 37円 総額28,888,951,686円 なお、中間配当金として31円をお支払しておりますので、当期の年間配当金は1株につき68円となります。

76,446名

(3)剰余金の配当が効力を生じる日 平成27年6月24日

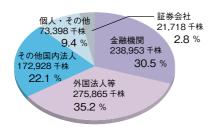
株式事項 (平成27年3月31日現在)

数

● 株式の総数

発行可能株式総数 1,500,000,000株 発行済株式の総数 782,865,873株 [注] 当期中の増加 O株 ● 株 主

株主の分布状況



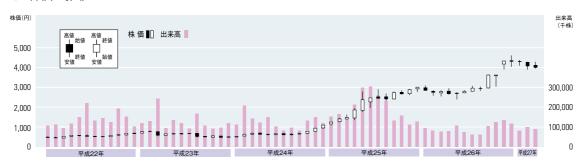
[注1]「個人・その他」には、当社所有の自己株式2,083千株 が含まれております。

[注2]「その他国内法人」には、株式会社証券保管振替機構名義 の株式11千株が含まれております。

大株主

- · · · · · -		
株主名	株式数(千株)	比率(%)
トヨタ自動車株式会社	129,000	16.48
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	42,266	5.40
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	34,282	4.38
株式会社みずほ銀行	16,078	2.05
スズキ株式会社	13,690	1.75
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	12,157	1.55
富士重工業取引先持株会	10,962	1.40
東京海上日動火災保険株式会社	10,295	1.32
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	10,251	1.31
MIZUHO SECURITIES ASIA LIMITED-CLIENT A/C 69250601	9,905	1.27

株価の推移



会社概要 Corporate Data

社 名 富士重工業株式会社

英 文 社 名 Fuji Heavy Industries Ltd.

1953年(昭和28年)7月15日 創 ゕ

箵 本 金 153,795百万円

13,883名(連結会社合計29,774名) 従業員数

主要製品 普通・小型自動車、航空機、汎用エンジン

本 社 〒150-8554 東京都渋谷区恵比寿一丁目20番8号

代表電話 03-6447-8000

役員 (平成27年6月23日現在)

代表取締役社長 吉永 泰之 執行役員 高橋 正士 執行役員 飯田 政尺 代表取締役副社長 近 藤 浬 執行役員 取締役専務執行役員 武藤 直人 執行役員 戸塚 正一郎 取締役専務執行役員 髙橋 充. 取締役専務執行役員 日月 丈志 執行役員 為谷 利明 執行役員 栗原 宏樹 取締役専務執行役員 笠井 雅博 執行役員 ☆取 締 役 有馬 利男 大拔 哲雄 執行役員 加藤洋一 ☆取 締 役 駒村 義範 執行役員 内田 雅之 専務執行役員 灰本 周三 執 行 役 員 専務執行役員 永 野 臺 尚 執 行 役 員 早田 文昭 専務執行役員 村上 晃彦 常務執行役員 小坂井 康雄 常務執行役員 常勤監査役 馬渕 中村 知美 常務執行役員 ☆常勤監査役 今井 伸茂 細谷 和男 常務執行役員 大河原 正喜 ☆監 査 役 山本 高稔 ☆監 杳 役 三田 慎一 常務執行役員 野 飼 康 伸 常務執行役員 前田 聡 常務執行役員 岡田 稔明

[注]☆印は会社法に定める社外取締役および社外監査役であります。

ひろみ

卓治

晃

株式手続きのご案内

事業年度毎年4月1日~翌年3月31日

配 当 基 準 日 期末配当:3月31日、中間配当:9月30日

定時株主総会 6月中

单元株式数100株

株主名簿管理人及び 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告 方法 電子公告

(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行

います)

株式に関する各種お手続き(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式に関する買取請求書及び買増請求書等)に関するお問い合わせ、書類のご請求の窓口につきましては、以下のとおりです。

証券会社に口座をお持ちの場合

お取引の証券会社になります。

なお、未払配当金の支払、支払明細発行については、下記のお取扱店・電話 お問い合わせ先・郵送物送付先をご利用ください。

証券会社に口座をお持ちでない場合(特別口座)

お 取 扱 店 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店

電話お問い合わせ先 0120-288-324(フリーダイヤル) 郵 便 物 送 付 先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4

なお、未払い配当金のお支払につきましては、みずほ銀行本店及び全国各支店でもお取り扱いいたします。

表紙PHOTO:インプレッサ ハイブリッド 2.0i-S EyeSight クォーツブルー・パール



PHOTO:レヴォーグ Proud Edition 1.6GT EyeSight ラピスブルー・パール

富士重工業株式会社

〒150-8554 東京都渋谷区恵比寿一丁目20番8号 電話 03-6447-8000





